

北海道教育大学釧路校における出張講義について

～令和4年度～

エステー株式会社、株式会社北都、釧路総合振興局は「トドマツの利用促進・知名度向上」、「森林の大切さの理解向上」、「魅力ある地域づくりの推進」等に関する事業を協働で実施し、釧路地域の活性化に向けて、平成27年1月22日に包括連携協定を締結。

包括連携協定の「森林の大切さの理解向上」事項に基づき、平成28年度から北海道教育大学釧路校の学生を対象に森林・林業についての出張講義を実施。

○実施要領

場所…北海道教育大学釧路校

日時…令和4年 5月26日（木） 9:00～10:25

令和4年11月24日（木） 9:00～10:30

1. 森林整備の必要性と林業

森林整備を担う林業について、具体的な仕事内容や、実際にかかる管理費などを学んで貰うことで、1つの職業であることを実感して頂きました。

2. 森林の種類と活用

北海道にはどんな木があり、樹種ごとにどんな特徴があるのかを、前期は実際に6種類の木に触れてもらい、後期は葉などの写真を見てもらい、樹種あてクイズを交えながら楽しく学んで貰いました。また、木質バイオマスへの活用についても学んでも貰いました。

3. 「SDGs」や「ゼロカーボン」と森林・林業

森林を管理することで発揮させることが出来る多面的機能や、発達段階で変わる二酸化炭素吸収量などの環境に与える影響について学んでいただきました。



【講義の様子】



【樹種当てクイズ】

○受講者の感想

- ・伐採が環境破壊に繋がるという印象だったが、伐採した土地を放置するのが環境破壊に繋がるのであって、伐った分を植えれば問題ないのは新たな発見だった。
- ・林業は、良い木材を育てるためにも、伐採する木と育成する木のバランスが大切であり、木の生え方や特徴など、様々なことが考えられていることに感動した。
- ・子供達が、実際に木のおもちゃに触れることで、木の有用性を理解することに繋がったりするなど、木を使うことで、学びの幅が広がると思った。

作成：北海道釧路総合振興局林務課 主査（木育推進）

TEL：0154-43-9208